

〔お知らせ〕

早稲田大学スポーツ科学学術院との 学術連携について

管 理 部

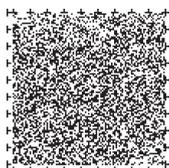
早稲田大学スポーツ科学学術院が所沢市に所在することもあり、この度、早稲田大学スポーツ科学学術院長と当センター総長との間で学術連携協定を締結する運びとなりました。

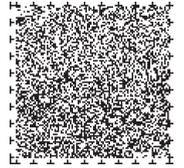
この協定は、早稲田大学スポーツ科学学術院と当センターとの研究教育活動の一層の充実と質の向上及び相互の研究交流を促進し、障害者の医科学における人材の育成を図り、学術の発展に寄与することを目的としています。

連携の内容としては、早稲田大学の教員、大学院生と当センターの研究員、職員との交流を深め、相互作用による障害者の医科学分野の発展を目指すこととしております。具体的には、障害者スポーツ、障害者の運動療法の有用性及び障害者の運動機能再生に関する医科学的研究を連携し行うこととしており、今後、障害に関する医科学的研究の一層の推進が期待されるところです。

記

- 1 調印式 平成22年3月24日（水）
- 2 場 所 当センター応接室
- 3 出席者 岩谷総長、諏訪研究所長、難波管理部長、堤企画調整官
早稲田大学スポーツ科学学術院 村岡教授（学術院長）、福林教授





リハセンターに飛来する野鳥を友に

元理療教育部長 見原 捷三

カイツブリ

カイツブリは、雌雄同色で全長が約78cm、カイツブリ科の中では最も小さい種類です。

夏羽根は、写真のとおり顔から頸の上部は赤褐色をしており、頸から下はシルバーグレイをしています。幼鳥は、顔や頸に黒い縞模様があり眼は、親同様に可愛らしい黄色い色をしています。

習性は、全国の池や湖沼に生息して、水上、水中生活に適応し体の最後部に付いている弁足を使って、巧みに泳ぎかつ、潜水し魚等を捕食します。

繁殖期になると、湖沼の水辺に草を積み上げて、水草の茎に絡めて固定して浮巣を作り卵の数は3個から9個産み雌雄交代で抱卵します。

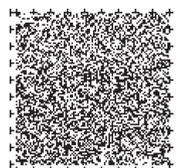
飛び立つ時は、水面を助走して飛び上がりまた、歩く時は体を垂直に立ててヨチヨチ歩きをします。

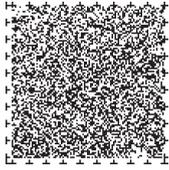
鳴き声は、「ケレケレケレ、ピィピリオン」となきます。

日本で繁殖しているカイツブリの仲間は、この他にカンムリカイツブリ、アカエリカイツブリの3種類が生息しています。そこで、今回はカンムリカイツブリを紹介する予定です。

ところで、私は子どもの頃、郷里の熊本市内を流れる加瀬川で、エビやフナ等の子魚を釣って良く遊びました。その時、このカイツブリがいつの間にか飛んできて、潜水を繰り返すのです。

その度に、「キャツブリの頭に火が付いた。(キャツブリは熊本の方言)」と大声で叫ぶとタイミング良く潜り、浮上したらまた、繰り返し叫んで遊んだことを、カイツブリを見る度に子どもの頃を、懐かしく思い出します。





平成22年度 リハビリテーション実施状況（4月報告）

1 自立支援局利用者状況

(1) 昼間実施サービス状況（1日平均）

（単位：人）

課 程		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自立訓練 （機能訓練）	H.22	25.1												25.1
	H.21	14.9												14.9
自立訓練 （生活訓練）	H.22	10.8												10.8
	H.21	9.6												9.6
就労移行支援	H.22	65.5												65.5
	H.21	55.3												55.3
就労移行支援 （養成施設）	H.22	87.8												87.8
	H.21	72.7												72.7
合 計	H.22	189.2												189.2
	H.21	152.5												152.5

(2) 施設入所支援サービス状況（1日平均）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所支援	H.22	202.6(66.4)												202.6(66.4)
	H.21	185.3(69.0)												185.3(69.0)

※（ ）は、職業リハビリテーションセンターを利用し、かつ施設入所支援サービスのみを利用している者の内数である。

(3) 独自事業（1日平均）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自動車訓練	H.22	11.5(4.8)												11.5(4.8)
再理療教育	H.22	0.0												0.0
臨床研修コース	H.22	1.3												1.3

※（ ）は、自動車訓練のみ利用している者の数である。

(4) 利用者数計（1日平均）

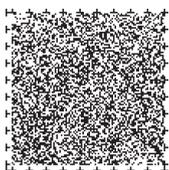
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
支援サービス	H.22	255.6												255.6
独自事業	H.22	6.0												6.0
利用者数総計	H.22	261.7												261.7

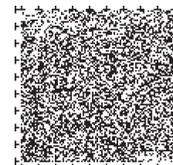
※1「支援サービス」は、「昼間実施サービス」の利用者及び「職業リハビリテーションセンターを利用し、かつ施設入所支援サービスのみを利用している者」の合計数である。

※2「独自事業」は、自動車訓練のみの利用者及び再理療教育、臨床研修コース利用者の合計数である。

2 病院入院患者の状況（1日平均）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.22	115.6												115.6
	H.21	121.0												121.0
一 般	H.22	114.5												114.5
	H.21	119.4												119.4
利 用 者	H.22	1.1												1.1
	H.21	1.6												1.6





3 病院外来患者の状況（1日平均）

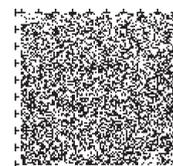
区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.22	142.3												142.3
	H.21	154.9												154.9
一 般	H.22	129.7												129.7
	H.21	143.0												143.0
利 用 者	H.22	12.6												12.6
	H.21	11.8												11.8

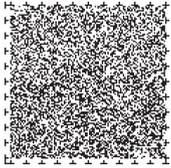
4 見学者の状況（実人員）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
医 療	国 内	84												84.0
	海 外	32												32.0
教 育	国 内	12												12.0
	海 外	0												0.0
福 祉	国 内	106												106.0
	海 外	5												5.0
職 業	国 内	17												17.0
	海 外	0												0.0
そ の 他	国 内	50												50.0
	海 外	2												2.0
うち障害者 (再 掲)	国 内	9												9.0
	海 外	0												0.0
平成22年度 合 計	国 内	269												269.0
	海 外	39												39.0
	計	308												308.0
平成21年度合計		332												332.0

5 学院生の在籍状況（月末現在）

学 科	学 年	人 数
言 語 聴 覚 学 科	1 年	31
	2 年	28
	小 計	59
義 肢 装 具 学 科	1 年	10
	2 年	10
	3 年	8
	小 計	28
視 覚 障 害 学 科	1 年	10
	2 年	4
	小 計	14
手 話 通 訳 学 科	1 年	14
	2 年	11
	小 計	25
リハビリテーション体育学科	1 年	2
	2 年	3
	小 計	5
合 計		131





センターのロゴ

センターのロゴは、国際障害者年を記念し、入所者・職員から募集した作品の中から選定されたものです。

このロゴは、

- 1 リハビリテーションセンターを包む、リハビリに対する強い意欲・意思・たゆまざる努力、そして友情と信頼、
- 2 リハビリテーションセンターを出発点として、未来にまた広く社会各方面に向かって伸びようとする入所者・職員の姿、
- 3 手話の指、点字を読む指、職業、職能、理療に励む力強い5本の手指

をイメージ化したものです。

また、NRCO は NATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIESの頭文字です。

制作者 住田律夫（昭和56年制定）



上のシンボルマークは、WHO（世界保健機関）のマークです。

WHO（World Health Organization）とは、国連の仕事のうち、保健衛生の分野を受け持つ専門機関であり、その目的は、全人類の健康を守るために、世界の国々が力を合わせて努力しようとするものです。

国立障害者リハビリテーションセンターは、WHO指定研究協力センターの指定を受け、国際協力を行っています。

「国リハニュース」編集事務局

国立障害者リハビリテーションセンター管理部企画課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 FAX 04-2995-3102

ホームページアドレス <http://www.rehab.go.jp/>

（国リハニュースはホームページに掲載されています）

※本誌へのご意見、ご要望等がございましたら、上記編集事務局宛

FAX又は、Eメール（kikakuka@rehab.go.jp）をお寄せ下さい。

